

MONOBE TIMES

教育目標
○心情豊かな人
○自ら学ぶ人
○勤労を尊ぶ人
○よく考えて行動する人
○国際社会に貢献する人

〒321-4511 栃木県真岡市高田1838
Tel 0285-75-0008
HP <http://www.moka-tcg.ed.jp/monoijhsc/>
ホームページで学校の様子を紹介しています
ぜひご覧ください



真岡市立物部中学校
学校だより
令和2年度 第11号
令和3年 3月発行

校長室から

東日本大震災から10年

校長 1

春らしい暖かな日が続く3月、桜町陣屋跡の桜のつぼみも膨らみ、もうすぐ開花の知らせも届きそうです。そのような折、先日3月10日（水）に、令和2年度卒業式を挙行いたしました。本来であれば、3年間の中学校生活の集大成として、盛大に執り行うべきところでしたが、コロナ禍により、規模を縮小せざるを得ませんでした。卒業生、そして保護者の皆様には、衷心よりお詫び申し上げます。しかし、式中の卒業生の態度は大変立派で、中学校3年間の確かな成長と今後の大いなる飛躍への期待を感じさせてくれました。希望にあふれた卒業生の皆さんの未来に、幸

ささて、今年3月11日（木）は、東日本大震災の発生からちょうど10年目に当たる、節目の日でした。本校では、国旗を半旗掲揚にして弔意を表すとともに、急な地震からとっさに身を守るシェイクアウト訓練を行いました。その後、担任の先生から東日本大震災の話聞き、地震発生時刻である14時46分から1分間の黙とうを行い、震災で亡くなった方々の御冥福をお祈りしました。震災時、生徒たちはまだ幼く、記憶も曖昧なところから、3月の全校会で東日本大震災の概要について、振り返りました。その要旨は以下のとおりです。

- ・東日本大震災は、東北地方太平洋沖地震により発生した災害である。
- ・震源は三陸沖の海底24km、地震の規模を表すマグニチュードは9.0～9.1という超巨大地震で、日本では観測史上最大、世界でも4番目ぐらいに大きな地震である。
- ・地震の揺れの大きさを表す震度は、宮城県で最大7を記録しており、また、本震の継続時間は約6分間と非常に長いのが特徴だった。
- ・地震により発生した巨大津波が、甚大な被害をもたらした。震源が地下24kmと浅く、地震の規模が非常に大きかったことが原因。津波のスピードは非常に速く、水深の深い沖の方では、時速800kmにもなる。水深が浅くなるとスピードは落ちるが、それでも時速36kmほどはあり、津波が近づいてから走って逃げて、逃げ切れない。
- ・東日本大震災で発生した津波は、最大で海岸から6kmの内陸にまで達し、津波の高さは最大16m、最大遡上高40m以上を記録した。
- ・この巨大津波により未曾有の災害が発生し、死者・行方不明者は2万人以上にも及び、10年が経過した今なお、4万人以上が避難生活を送っている。
- ・また、巨大津波により、福島第1原発の1～5号機で全ての電源を喪失し、原子炉を冷却できなくなり、1～3号炉で炉心溶融（メルトダウン）が発生。それに伴い、大量の放射性物質が空气中に拡散し、原発周辺が立ち入り禁止区域となった。

2011年3月11日（金）14時46分、通称「3.11」。この未曾有の震災を経験した私たちは、亡くなった方々を悼みつつ、防災について改めて考える必要があります。日本は、3つのプレートの境目に位置しているため、ある程度の周期で巨大地震が発生します。次に、発生が予想されている巨大地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域とする「南海トラフ地震」です。静岡県から宮崎県にかけての一部では、震度7の強い揺れが想定され、また、関東地方から九州地方にかけての太平洋沿岸の広い地域に10mを超える巨大津波の襲来が想定されています。東日本大震災を超える規模の、過去に経験のない災害となる可能性があります。そのため、巨大地震の前兆をつかもうと研究が続けられていますが、地震予知は困難を極め、現状では向こう何十年の間の確率でしか示すことはできません。

そのような中、私たちにできることは、東日本大震災の教訓を生かし、「想定外」という言葉を使わずに済むように、最悪の事態を想定して災害に供えることです。巨大地震発生時に身を守るための行動をどのように取ればよいのか、巨大津波が襲来したらどこに避難すればよいのか、ライフライン復旧までに必要な生活物資は備蓄されているのかなど、しっかりと考えておく必要があります。東日本大震災から10年、「3.11」を決して風化させることなく、本校では命を守るための防災教育の充実を図って参ります。

※ 裏面に続きます

静粛さと温かみあふれる卒業式



卒業証書授与

3月10日(水)。春の陽気にあふれるその日。38名の生徒たちが、母校、物部中学校を巣立っていきました。▲当日は、本校職員と3年生の保護者のみが同席しての卒業式。在校生たちは教室で、zoomでの視聴となりました。▲式は、静粛さと、そこに集う人たちの、卒業生への温かな思いがあふれる中、実に感動的に進行しました。▲ステージ横のスクリーンには、証書を手にする我が子の姿が映し出される。授与の際の校長先生からの「ひと言」にうなづく生徒。在校生代表の2年生土井さんの「送辞」は、先輩方への思いでいっぱいでした。▲そして、生徒会長の小貫くんの「答辞」。後輩たち、先生方、保護者、そして地域の方々への感謝の言葉を口にする声は、震えていました。▲その中でも、一番の強い思いは、同級生への感謝の念。9年間、自分を成長させてくれた友達への「ありがとう」の言葉は、会場の人たちの心にも響きました。最後は、卒業生による合唱「栄光の架橋」。涙で歌詞がとぎれる場面もあり、一緒に歌う職員の日にも涙があふれていました。▲コロナ禍での最終学年ではあったものの、たくさんの思い出を作り、後輩たちに勇気を与えてくれた3年生たちの未来に幸多かれと願います。



卒業生合唱「栄光の架橋」



答辞「9年間、ありがとう…」



表彰の記録 (敬称略)

- ▼篤行善行少年表彰 O
- ▼芳賀郡市教育祭表彰【優秀生徒】 O
- ▼真岡市教育祭 【優秀児童生徒】 A、H
- ▼真岡市社会福祉協議会長表彰 O、S
- ▼栃木県体育運動優良生徒 K、T
- ▼市長賞メダル S、K
- ▼栃木県学校教育書写書道作品展【大賞】U 【特賞】N
- ▼下野教育美術展【デザインの部 金賞】K【絵画の部 金賞】O
- ▼下野教育美術展【奨励賞】Aほか20名【入選】Kほか23名

多く表彰・受賞に、物部中学校の可能性を感じます。皆さん、おめでとうございます。

▽学校長賞

- S、K<栃木県理科研修展覧会・最優秀賞>
- U<栃木県学校教育書写書道作品展・大賞:下野教育書道展・金賞:栃木県書初中央展・特賞>
- N<栃木県学校教育書写書道作品展・特賞:下野教育書道展・金賞:栃木県書初中央展・特賞>
- K、O<下野教育美術展・金賞>

▽PTA会長賞

- T<下野教育書道展・銅賞>
- S、K<栃木県理科研修展覧会・最優秀賞>

◆3か年皆勤賞

- K、K、T、H、K、K、G、H



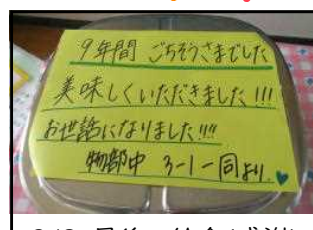
2/24 長縄跳び大会



3/9 同窓会入会式



3/9 3年生による感謝の会



3/9 最後の給食(感謝)

寒さに負けぬ物部っ子



3/11 シェイクアウト訓練

あの日から10年。風化させてはいけない3.11の記憶…。

7,400名余の同窓生

ありがとう!

1年間、御理解。御協力ありがとうございました。



3/12 シュラスリボン運動

9年間の感謝を込めて…

未だ、収束の道筋見えぬコロナ禍。医療従事者への思いを忘れない。